



日々の歩みを「ふりかえる」

校長 井上正裕

前庭のヒマワリが、日を追うごとに、その背丈を伸ばし、とうとう子どもたちの背の高さを超えるようになりました。茎の太さも一段と太くなり、葉の数も大きさもずいぶん増えました。一日一日の変化は、小さいのですが、それが毎日積み重なると、大きな変化に結び付きます。

子どもたちの成長も同じです。日々の成長は、わずかなので、毎日見ていると、その変化に気が付きにくいのですが、まとまった期間を経てから、その変化を振り返ると、ずいぶん成長していることに気が付き、驚かされます。

子どもの成長は、少しずつ前に進むばかりでなく、時に立ち止まったり、後戻りしたりするように見えます。しかし、その立ち止まったり、後戻りしたりしたように見える過程も、その子にとっては、成長し、自立するための大切な学びとなっています。

大人は、子どもの成長に期待するがあまり、目に見える進歩を急ぎ、先回りしがちです。しかし、子どもたちは、小さな一步を毎日積み重ねています。その成長しようとする歩みに寄り添い、かわりながら、多くの実がなることを楽しみに待つ。そのような大人の温かな姿勢、見守る姿勢が、子どもたちにとっては、安心して生活し、日々の歩みを進める上で、大切なのだと思います。

子どもの自制心や思いやりといった将来にわたって大切になると思われる力が発達するのに、他者への信頼が根元にあるという指摘があります。（「子どもの発達格差」PHP 新書 2021 年 6 月刊 著者：森口佑介 発達心理学者、京都大学大学院准教授）我慢をすることで価値あるものが得られることや、人にかけての情けが自分に返ってくることなどは、周囲の他者への信頼がなくしては成り立たないことだからです。

この他者への信頼は、幼い頃から培われるものだそうです。特に、親をはじめとする養育者とのかわりが大切だということです。このかわりを基盤として、他者への信頼が形づくられ、自制心や思いやりなどに結び付いていきます。

親子のかわり、教師と児童とのかわり。子どもの発達という面から見ても、信頼が育まれる関係が求められると言えます。私たち大人も、折に触れて子どもとのかわり方を振り返る必要があります。

やがて、前庭のヒマワリは、大人の背丈を超えるほど成長します。そして、何百という数の種を実らせます。最初に植えたのは、たった一粒の種であったはずなのに。

学校は、まもなく 1 学期の終業式を迎えます。子どもたちは、授業日 76 日間の歩みを振り返って、大きな実りである自分自身の成長を感じ取ってくれることでしょう。

もうすぐ迎える夏休みでは、子どもたちには、学校では得られない経験を加えてほしいと思います。そして、さらに成長した姿で、2 学期を迎えてほしいものと思っています。

今年度は、これまでのところ大きな事故もなく、無事に 1 学期間の学習を終えることができそうです。これは子どもたちの努力はもちろんですが、保護者、地域の皆様の御理解と御協力のたまものです。心より感謝申し上げます。

保護者CAPワークショップ



保護者向けの CAP ワークショップを行い、5年生を中心とした保護者の方に参加していただきました。このワークショップでは、子どもたちの安心・自信・自由が奪われないようにするために何ができるかを考えました。子どもたちのよりよい成長に大切なことが学びました。

図書館

ボランティアの活動



本年度も、図書館ボランティアの方から、学校の図書室の環境整備をしていただくことになりました。第1回の打合せが終わり、6月から本格的に活動をスタートしました。図書室前や、図書室内には、子どもたちが「本を読みたい！」と思う工夫がたくさんです。

なかよしどんぐり集会



外ヶ輪小学校のいじめ見逃しゼロスクールの取組として、なかよしどんぐり集会を開きました。今年度は、感染症対策を講じた上で、異学年で集まっての集会となりました。この集会で、いじめをなくし、みんながなかよしな学校にしていこうという決意を再確認しました。

2年ぶりの体力テスト



昨年度は、感染症の影響で中止された体力テストを2年ぶりに実施しました。例年のような縦割り班ではなく、学年・学級での記録測定となりましたが、子どもたちはめあてをもちながテストに臨んでいました。2年前よりも、体が大きくなり、体力もついてきた子どもたちです。記録が伸び、自分自身の成長に喜びを感じている子どもたちもたくさんいました。

子どもたちの体力の様子については、テストの結果が届き次第、御報告させていただきます。

学習参観・引き渡し訓練

7月3日(土)の学習参観、引き渡し訓練にたくさんの方の保護者の皆様から御参集いただき、ありがとうございました。今年度初めての学習参観でした。子どもたちが一生懸命に学習に取り組んでいる姿を見ていただくことができたのではないのでしょうか。

さて、学校としては、災害時に児童の安全を確保するとともに、確実にお子さんを保護者の皆様に引き渡すことが重要であると捉え、引き渡し訓練を実施しております。本年度は、密を避けるため、「地域ごとの引き渡し」、「ロータリーと教室の2段階の受付」という例年とは違う方法で行いましたが、保護者の皆様の御協力により、スムーズに引き渡しを完了することができました。感謝申し上げます。

なお、今回の訓練の反省で、「災害時に引き渡しカードを持参することができない保護者が多いのではないか」という意見が出ました。そのような場合に対応するため、保護者の皆様には、予めスマホ等に引き渡しカードを画像として保存をしておくことを推奨いたします。引き渡し時にカードがなくても、画像で確認できれば、お子さんを引き渡せることといたします。



PTA 資源回収

7月2日(金)に、PTA 資源回収が行われました。子どもたちは、たくさんのアルミ缶を持ってきてくれました。御協力いただき、ありがとうございました。



あいさつレインボー

学校にさわやかな挨拶を広めるために、運営委員会があいさつレインボーの取組を実施しました。この取組では、朝、玄関前に立つ運営委員に自分から挨拶をすると、運営委員からシールがもらえます。シールには、学年の色が決まっています。もらったシールを学年の場所に貼れます。子どもたちは、きれいな虹ができるように、毎朝、元気よく挨拶をしていました。児童の主体的なよい取組となりました。

1ヵ月間、あいさつレインボーに取り組み、学校にきれいなあいさつの虹を架けることができました。



修学旅行に行ってきました！

6月22日、23日の2日間、6年生が佐渡旅行に行ってきました。子どもたちの活動では、一切雨が降ることなく、すべて予定通りに見学・活動を行うことができました。

子どもたちは、約束を守り、友達と仲良く楽しく見学をしたり、体験活動を行ったりすることができました。ちょっとしたトラブルも、友達と反省・修正しながら解決することができました。楽しく、充実した2日間は、小学校生活のよい思い出になったことでしょう。

保護者の皆様からも、お見送りやお迎え、準備等で御協力いただきました。本当にありがとうございました。

出発式、5年生からのメッセージ



北沢浮遊選鉱場跡



西三河ゴールドパークで砂金採り



佐渡金山



佐渡歴史伝説館



鬼太鼓鑑賞



ときの森公園



相川技能
伝承館



お土産購入！



ウミネコがお見送り

